

2024年作のアスパラ枠板式高畝栽培が終盤を迎えています。
2月下旬ごろより収穫が始まったアスパラガスですが、冬に近づくにつれ
収穫量がかなり減少しました。
たくさん収穫できていた時期が懐かしいです。
今回は、アスパラの収穫を通して感じたこと紹介します。

アスパラの収穫量の変化

7月ごろは収穫量がとても多く毎日収穫しないと間に合わない状態でした。
10月ごろからはだんだんと涼しくなってきたこともあり、収穫量が急激に少なくなったなと感じました。
収穫にかかる時間も短くなり、取れるアスパラも細いものが多くなっている印象でした。
アスパラがカゴいっぱいに入ることがなくなり寂しく思います。



7月の
収穫量



11月の
収穫量

アスパラの収穫の振り返り

今年は暑い時期が長く続きました。
アスパラはとても茂っており、新しい枝が次々に伸びてきていました。→**選定が必要**
収穫の際には頭に草が刺さったり、ついたりして作業がとても大変でした。
→**収穫時には帽子の着用がおすすめ**
寒くなったなと感じた時にはアスパラの食害が増え始めました。収穫物を先に食べられ、私たちの食べる量が少なくなったので、悲しい気持ちでした。
→**寒くなる前に害虫防除が大切**



7月の
アスパラ
ハウス



ヨトウムシ
食害

2024年作はもうすぐ枯れ始め、次作のために栄養分を葉から根に蓄えます。
2025年の春ごろにはまた収穫が始まるのでとても楽しみです。
また、研究農場での取り組みや感じたことをお伝えしたいと思います。